



立地適正化計画

第2回庁内検討部会

2023年3月15日10:00～



1. 香芝市の現状

- ①人口
- ②土地利用
- ③産業
- ④交通
- ⑤災害

2. 市民アンケート結果

- ①居住
- ②まちの将来像
- ③まちの課題
- ④駅・自宅周辺に必要な施設

3. 関係各課へのヒアリング

1. 香芝市の現状



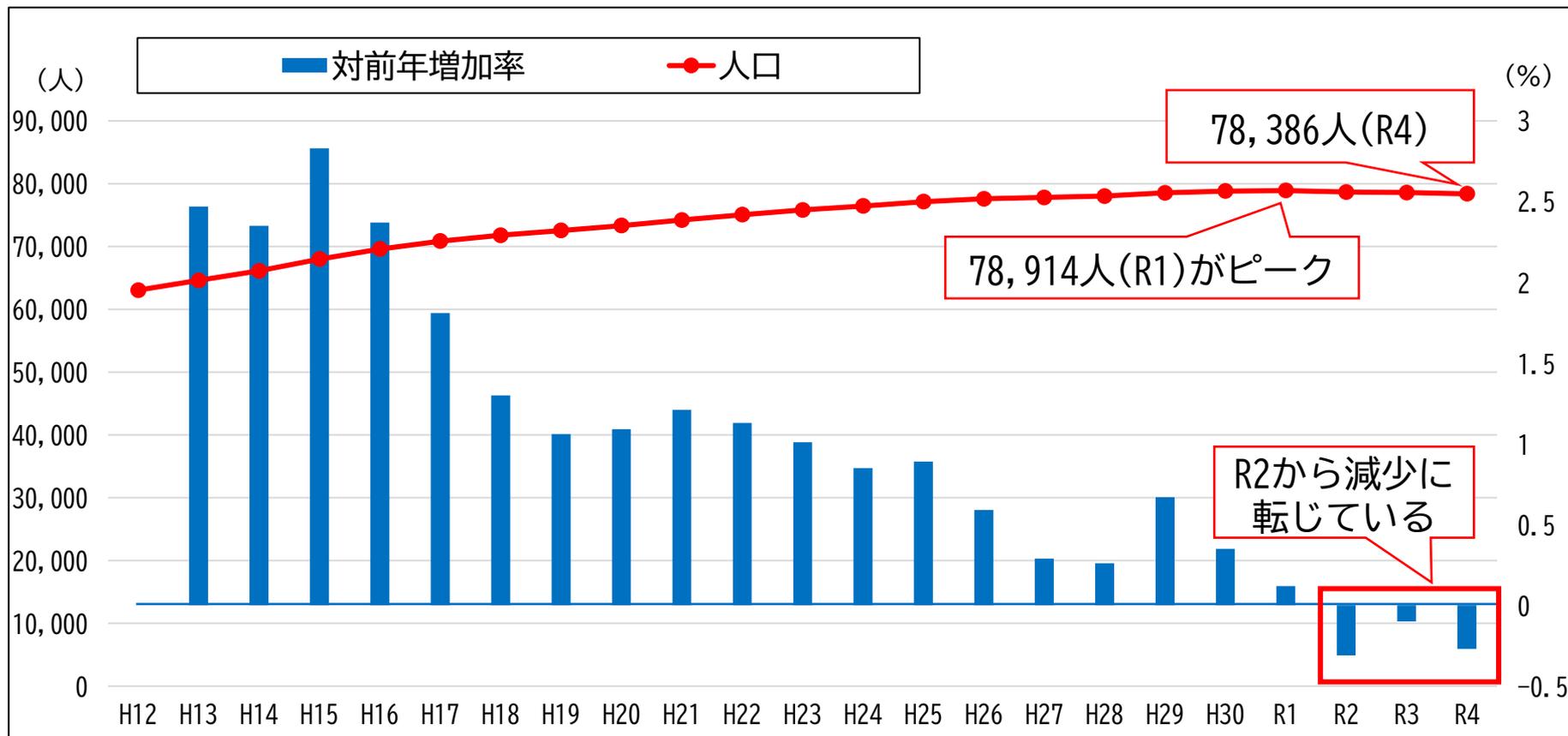
1. 香芝市の現状 (①人口)



○令和4年時点の香芝市の人口は78,386人であり、令和2年から減少傾向に転じている。

→近年、人口減少に転じ、減少傾向が継続することが予想される。

【香芝市の人口推移】

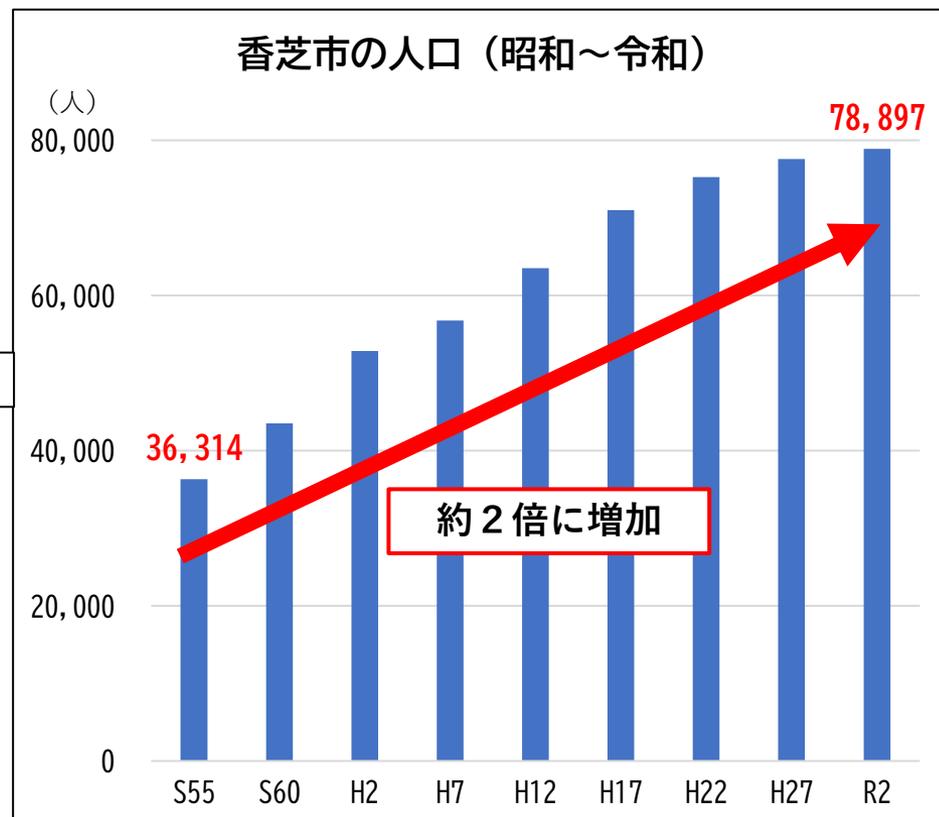
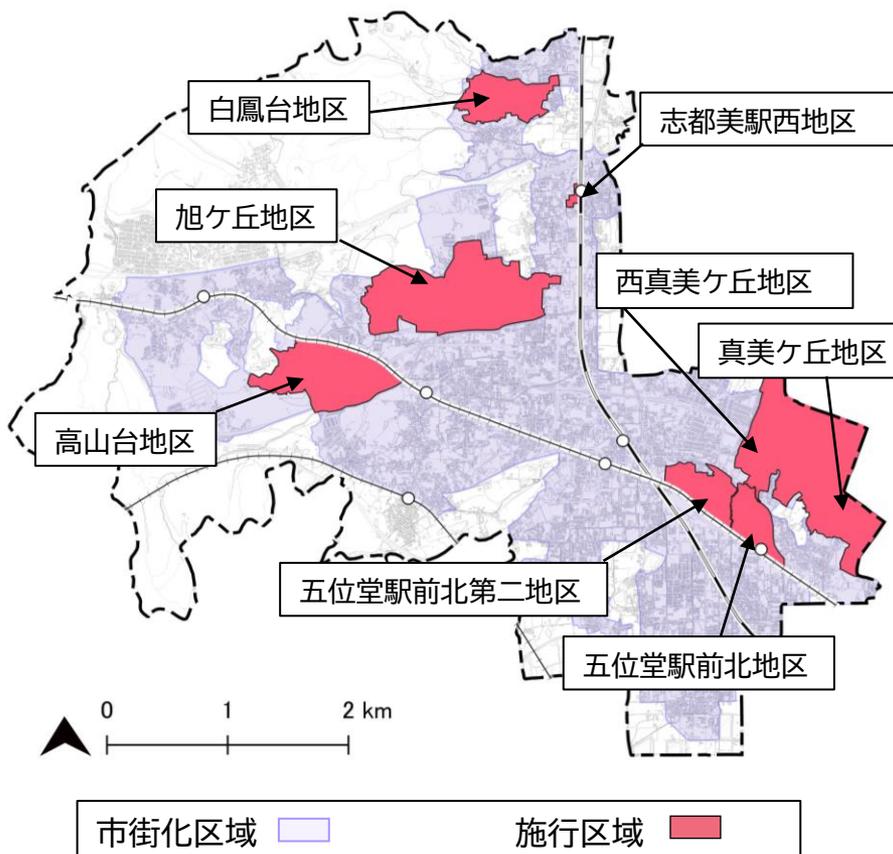


出典：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（総務省）

【人口減少が予想される理由】

- ・今までは、土地区画整理事業によって、人口が大きく増加してきたが、新規の土地区画整理事業がなく、大幅な人口増加が望めない。

【土地区画整理事業施行区域】



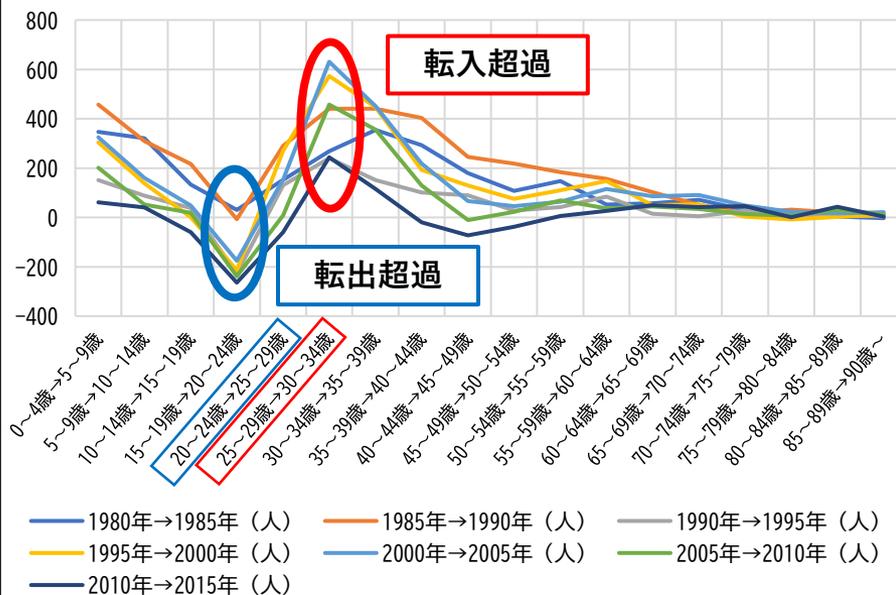
出典：国勢調査

【人口減少が予想される理由】

・子育て世代の転入が多く、進学・就職世代の転入が多かったが、近年、転入は減少し、転出は増加傾向にある。

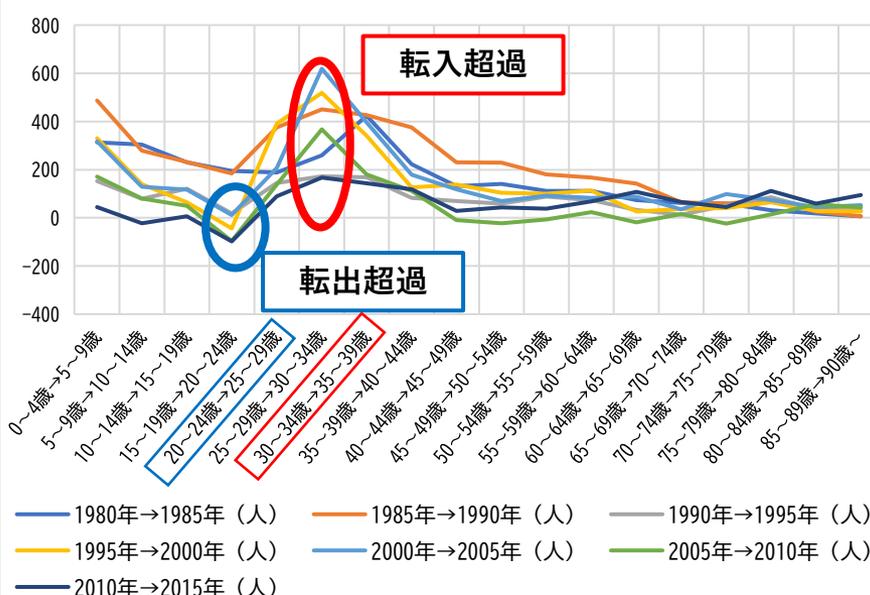
→転出が多くなった原因は通学・通勤圏外への進学や就職の増加が考えられる。

男性の年齢別純移動の推移



出典：住民基本台帳人口移動報告

女性の年齢別純移動の推移



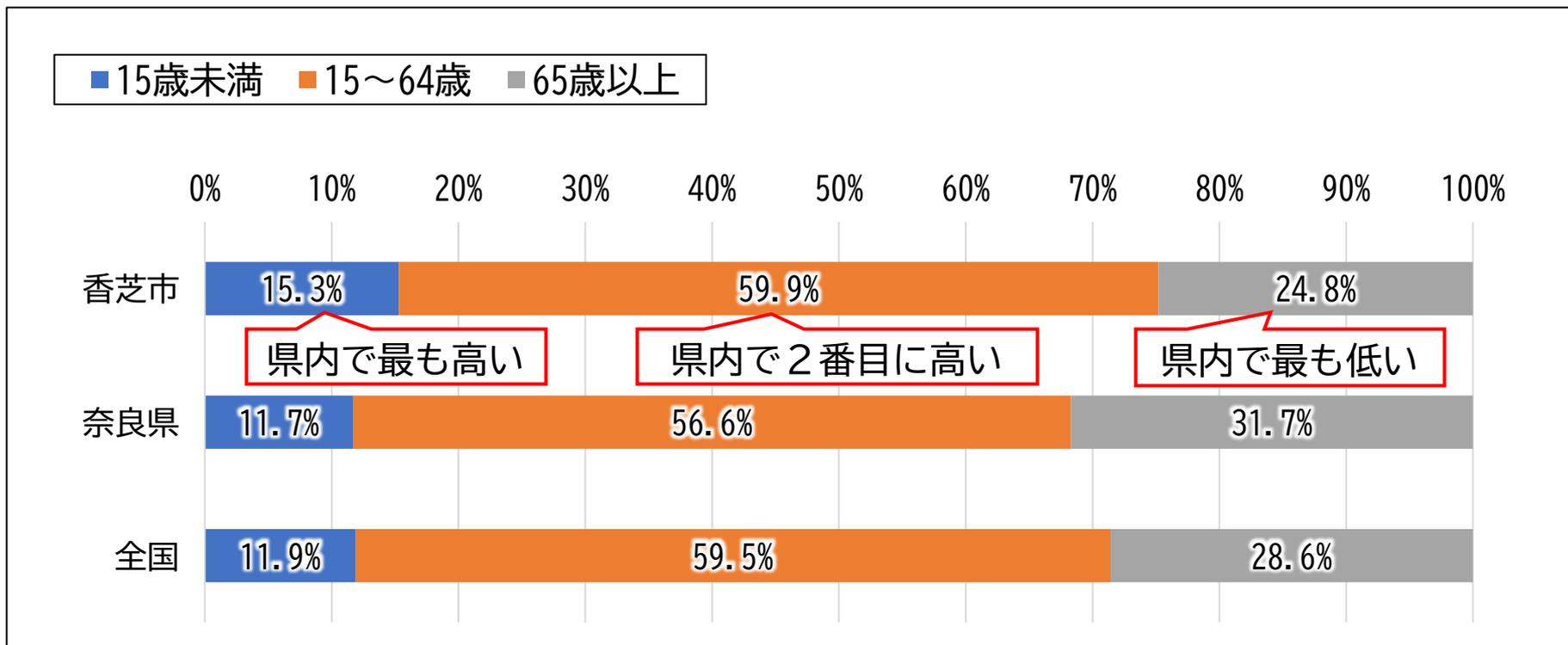
出典：住民基本台帳人口移動報告

○15歳未満の人口比率は奈良県内で最も高く、65歳以上の人口比率は最も低い。

○15～65歳の人口比率は天理市に次いで奈良県内2番目となっている。

→比較的、若い世代の割合が高く、高齢者の割合が少ない。

【年齢3区分別人口割合】



出典：国勢調査 (R2)

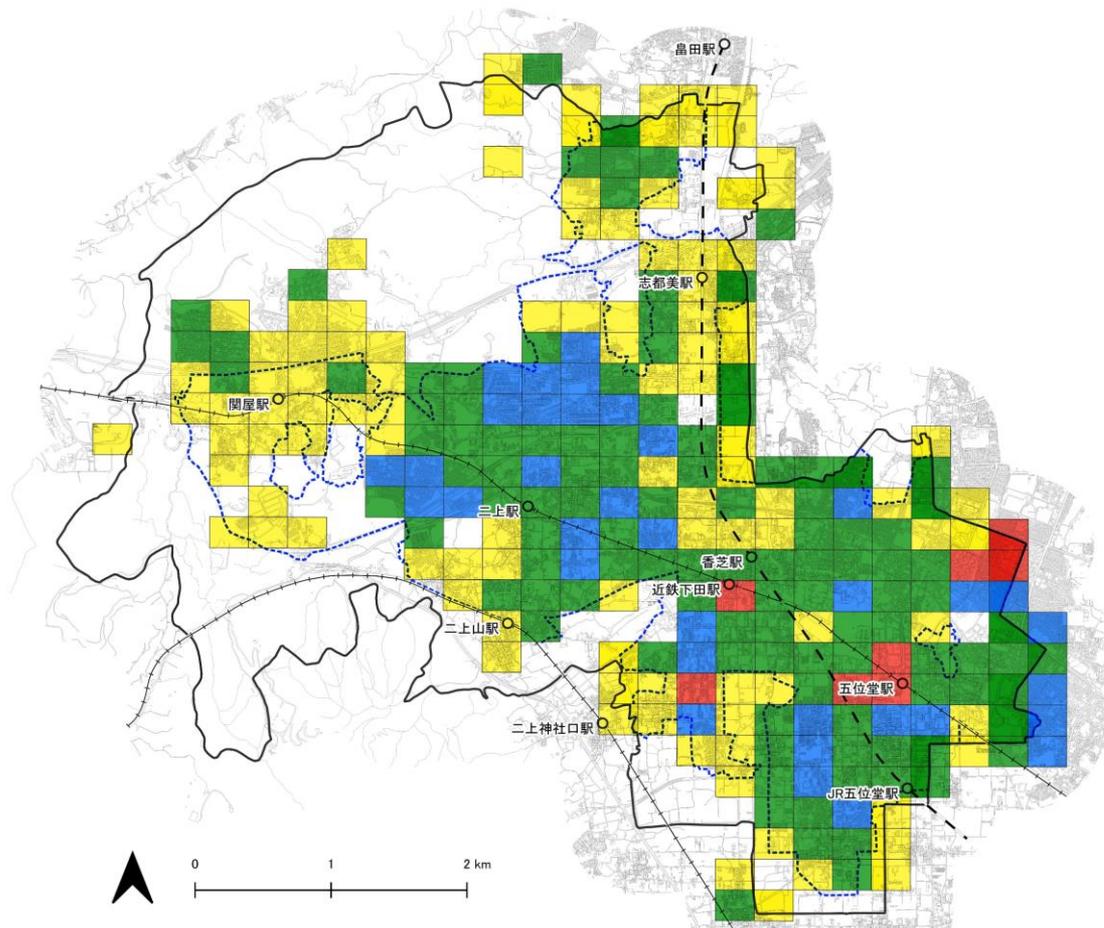
1. 香芝市の現状 (①人口)



○真美ヶ丘、五位堂駅、近鉄下田駅において人口密度が高い

→土地区画整理事業が実施されたエリアや交通利便性が高いエリアの人口密度が高い。

【人口集積状況 (250mメッシュ)】



凡例		
区域	市域	
	市街化区域	
鉄道	近畿日本鉄道	
	JR西日本	
	鉄道駅	
人口	10人/ha未満	
	10~40人/ha	
	40~80人/ha	
	80~120人/ha	
	120人/ha以上	

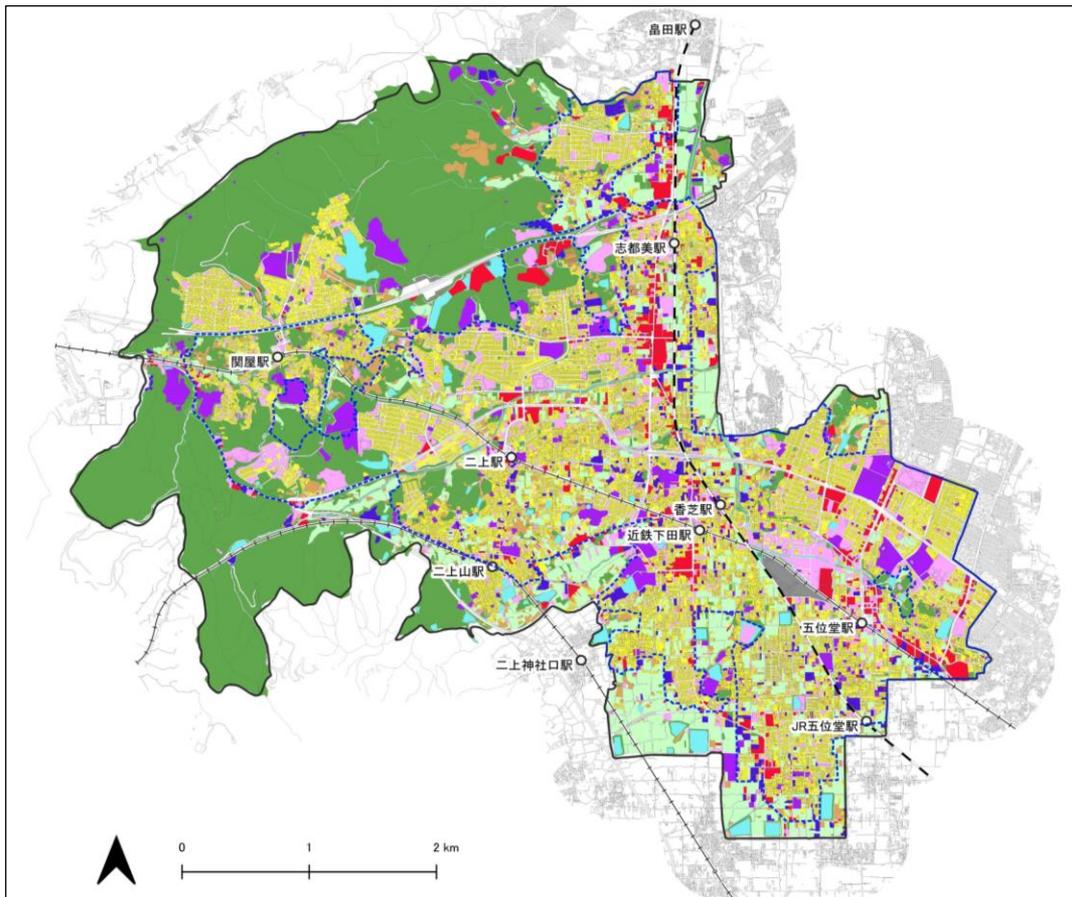
出典：国勢調査 (R2)

1. 香芝市の現状 (②土地利用)

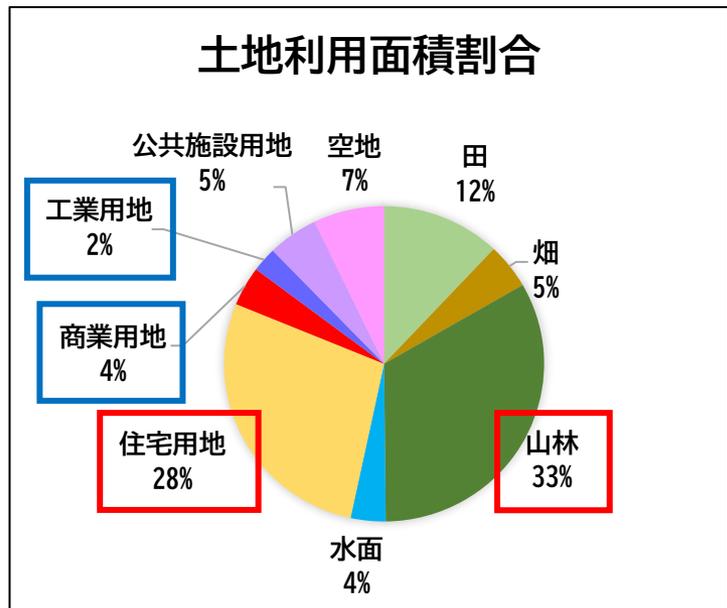


○山林と住宅用地の面積割合が高く、**商業用地、工業用地の面積割合は低い。**

【土地利用現況】



土地利用面積割合



凡 例			
	田		商業用地
	畑		工業用地
	山林		公共施設用地
	水面		空地
	住宅用地		

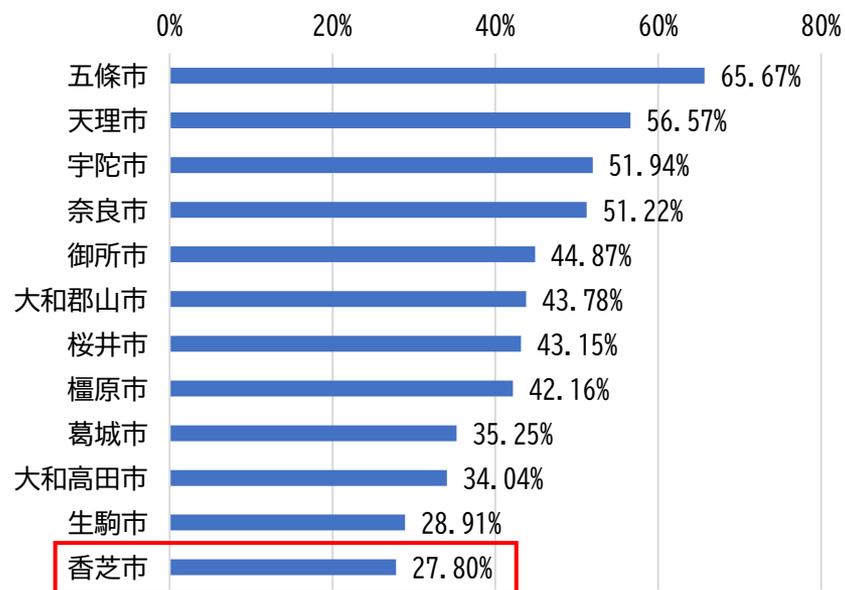
出典：都市計画基礎調査 (H26)

1. 香芝市の現状 (③産業)



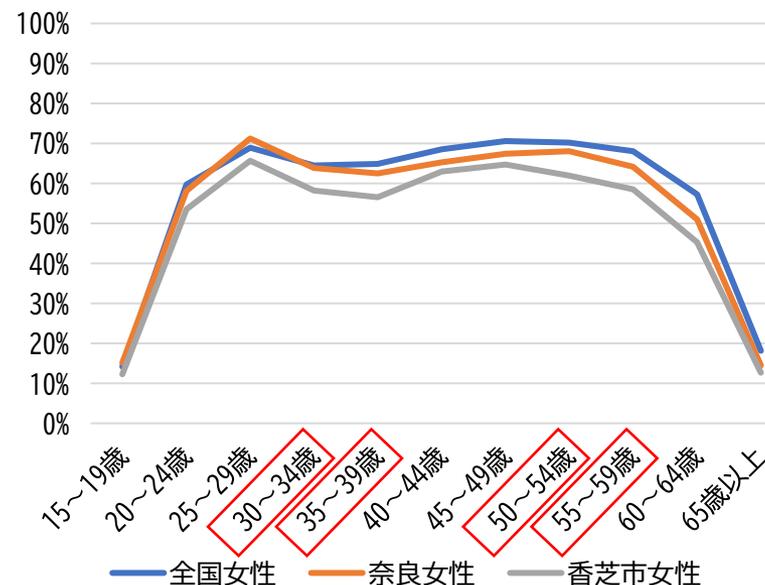
- 市内就業率は奈良県12市の中で最も低い。
- 女性就業率は、全国や奈良県より、全年齢で低く、特に30代や50代で差が大きい。
- 市外で働く若い人が引っ越してくるケースが多い。
- 香芝市で働く場所が少ない。

市内就業率 (香芝市内で働く方の割合)



出典：国勢調査 (R2)

女性就業率

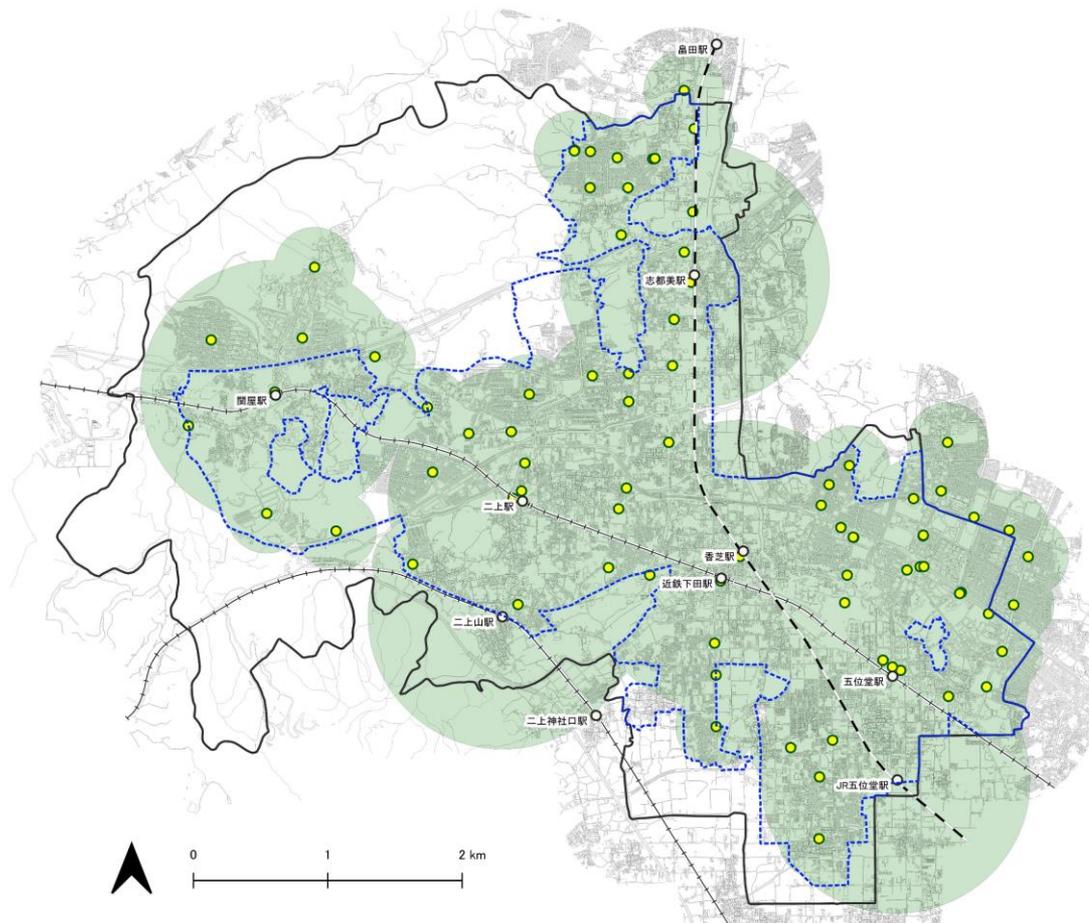


出典：国勢調査 (R2)

○バス停から300m圏域及び鉄道駅から1km圏域の公共交通サービスを楽しむことができるエリアに居住している人口の割合は約97%となっている。

→公共交通サービスは充足している。

【バス停300m圏域及び鉄道駅1km圏域のカバー状況】

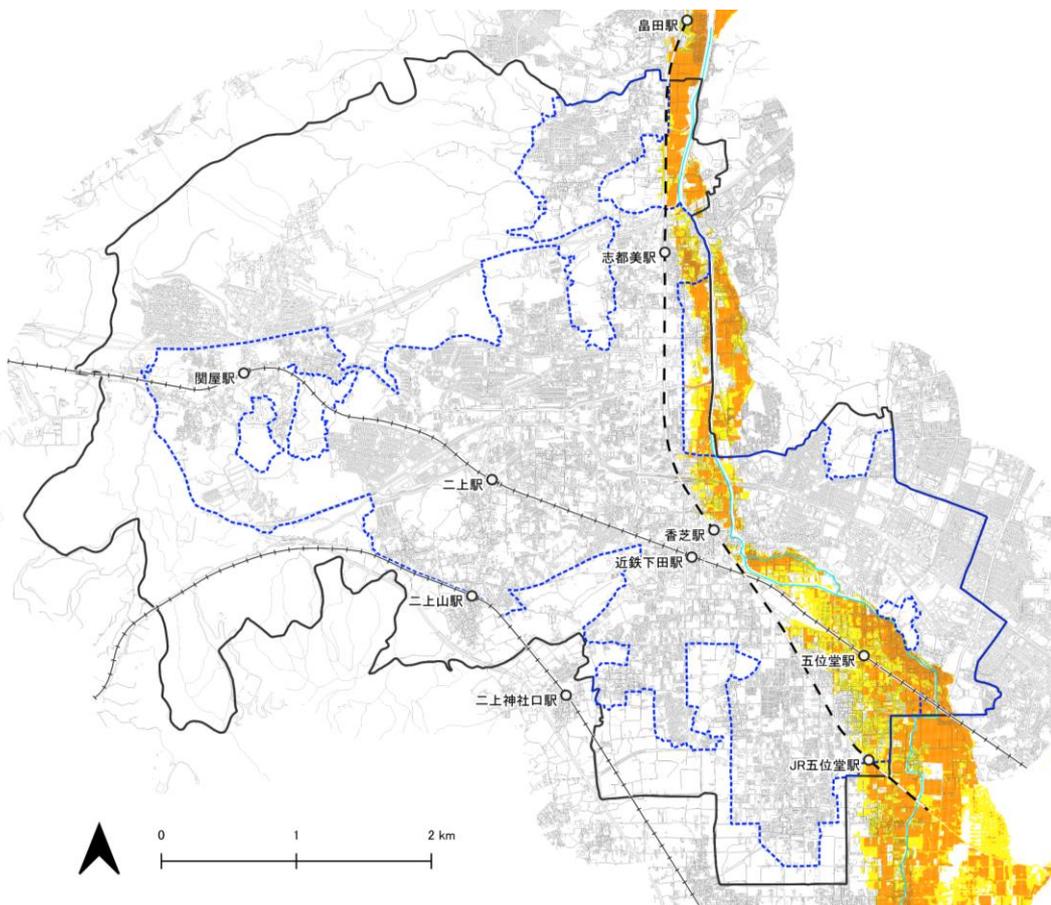


凡 例		
区域	市域	
	市街化区域	
鉄道	近畿日本鉄道	
	JR西日本	
	鉄道駅	
バス停	バス停	
バス停300m圏域 及び駅1km圏域		

○葛下川沿いで浸水想定区域が広い範囲で見られるが、大部分のエリアで浸水深が3.0m以下となっている。

→葛下川は、五位堂駅北側まで河川改修事業が進められている。

【浸水区域(想定最大規模)】

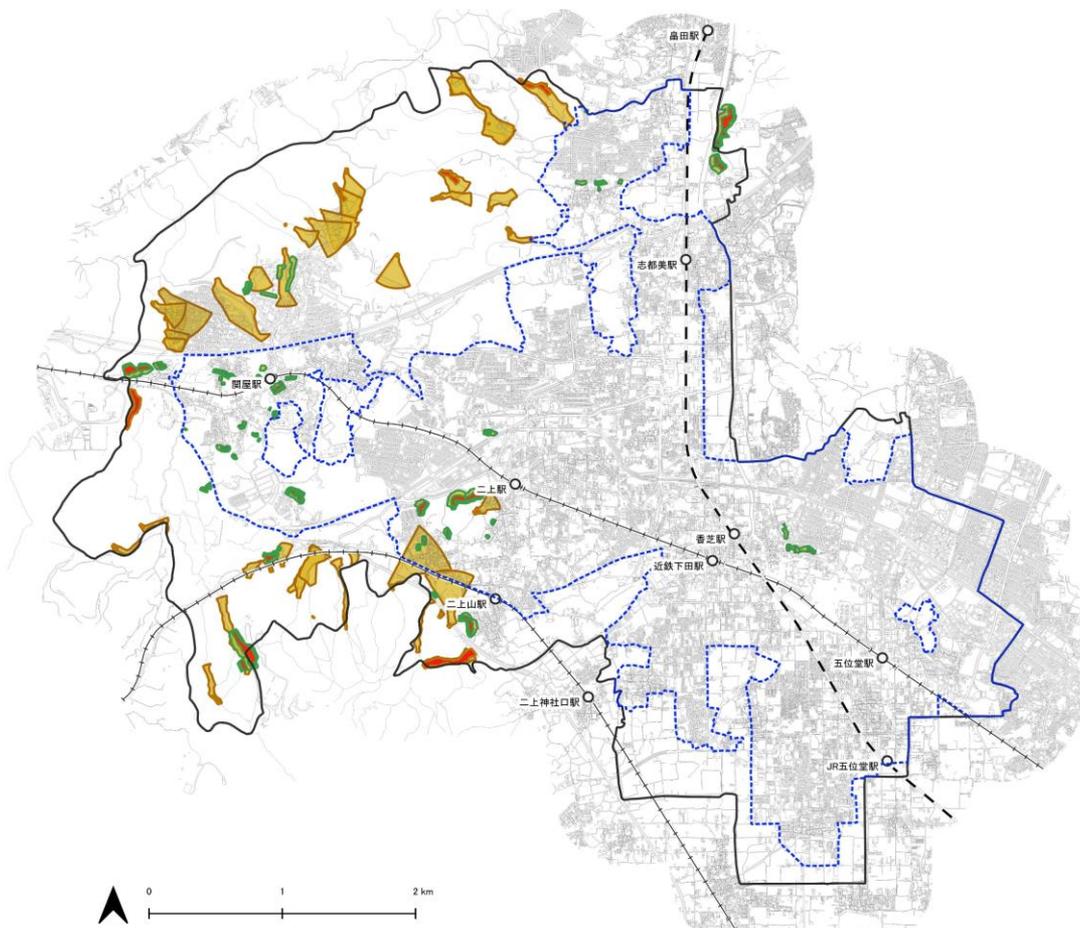


凡 例		
区域	市域	
	市街化区域	
鉄道	近畿日本鉄道	
	JR西日本	
	鉄道駅	
河川		
浸水深	0.5m未満の区域	
	0.5～3.0m未満の区域	
	3.0～5.0m未満の区域	

○北西部と南西部において、土砂災害警戒区域や土砂災害特別警戒区域がみられる。

→北西部や南西部、関屋駅、二上駅周辺において土砂災害の危険性が高い。

【土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域】



凡 例		
区域	市域	
	市街化区域	
鉄道	近畿日本鉄道	
	JR西日本	
	鉄道駅	
土砂災害	土砂災害特別警戒区域 (急傾斜地)	
	土砂災害警戒区域 (急傾斜地)	
	土砂災害特別警戒区域 (土石流)	
	土砂災害警戒区域 (土石流)	

2. 市民アンケート結果



【アンケート概要】

(1) 期間

2022年10月17日（配布）～2022年10月31日（〆切）

(2) 対象者

香芝市内の住民から無作為に2,000名を抽出

(3) 回収状況

配布数：2000通

回収数：875通

回収率：43.75%

香芝市立地適正化計画の策定に向けた
市民アンケート調査
～よりよいまちづくりのために、ご協力よろしくお願いします～

日頃より、市政にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。
本市では、まちづくりに関する基本的な方針である「香芝市立地適正化計画」を策定する取り組みを進めています。
本アンケート調査は市民の皆様には「まちづくり」と「くらし」に関するご意見をお伺いし、今後の計画づくりのための基礎的資料として活用させていただくことを目的としています。
つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

■本調査は香芝市にお住まいの方から地域のバランスに応じて対象を無作為に抽出した2,000名にご協力をお願いしております。

■選択肢のうち、「その他」とお答えの方は、具体的な内容をご記入ください。
ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて

10月31日（月） までにポストにご投函ください。

※切手は不要です。

本調査について、ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。
担当：香芝市 都市創造部 都市計画課 TEL:0745-44-3316
FAX:0745-78-3830

※本調査は無記名で行い、票封はすべて機密的に処理しますので、個人が特定されることはありません。
また、本調査の目的以外には一切使用しませんので、ご返信いただいた方にご返信をおかけすることはありません。



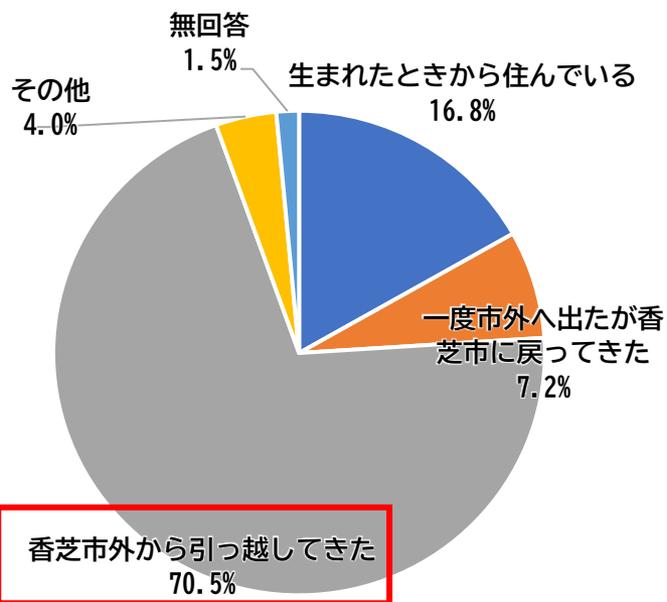
令和4年10月 香芝市

2. アンケート結果 (①居住)

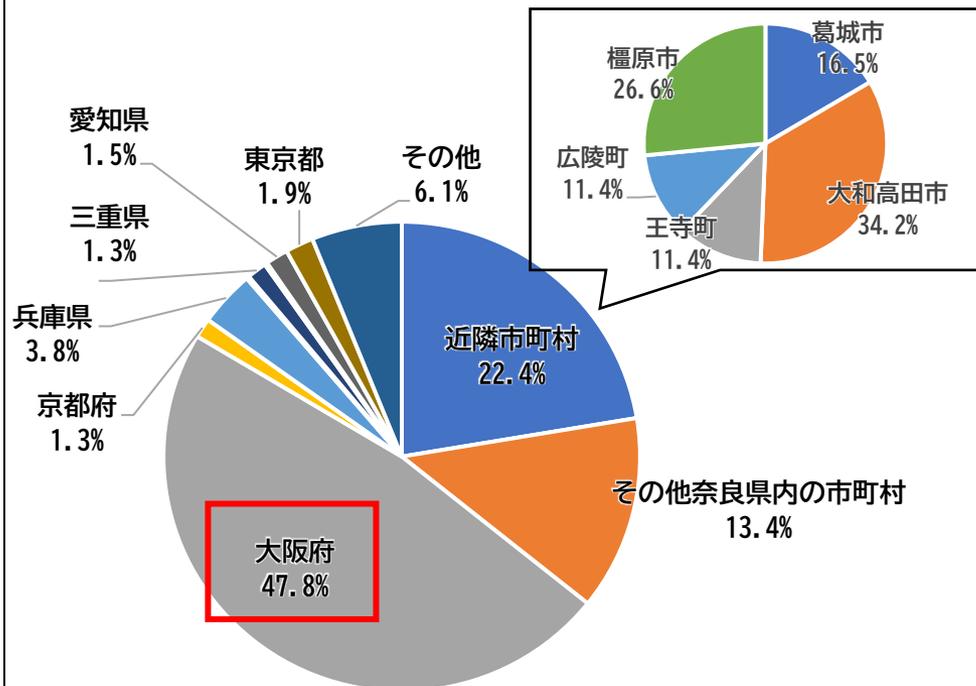


- 市外から香芝市に引っ越してくる人の割合が高い。
- 大阪府から転入してくる方が約半数。
- 近隣市町村からは、大和高田市や橿原市から転入してくる方が多い。

どのような経緯で香芝市に住んでいるか n=875



以前の住まい n=523



2. アンケート結果 (①居住)

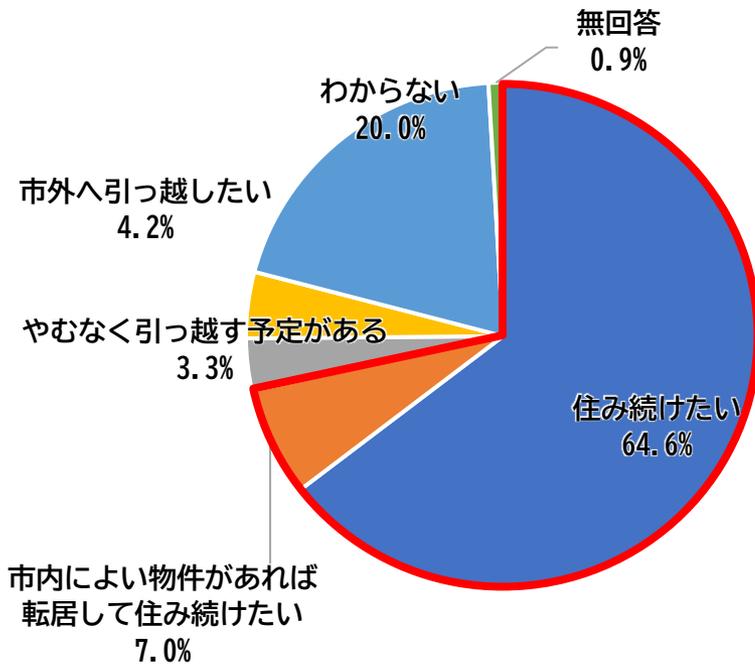


○7割以上の方が今後も香芝市に住み続けたいと思っている。

○住み続けたい理由は、居住環境や交通利便性の良さ、愛着があると回答した割合が高い。

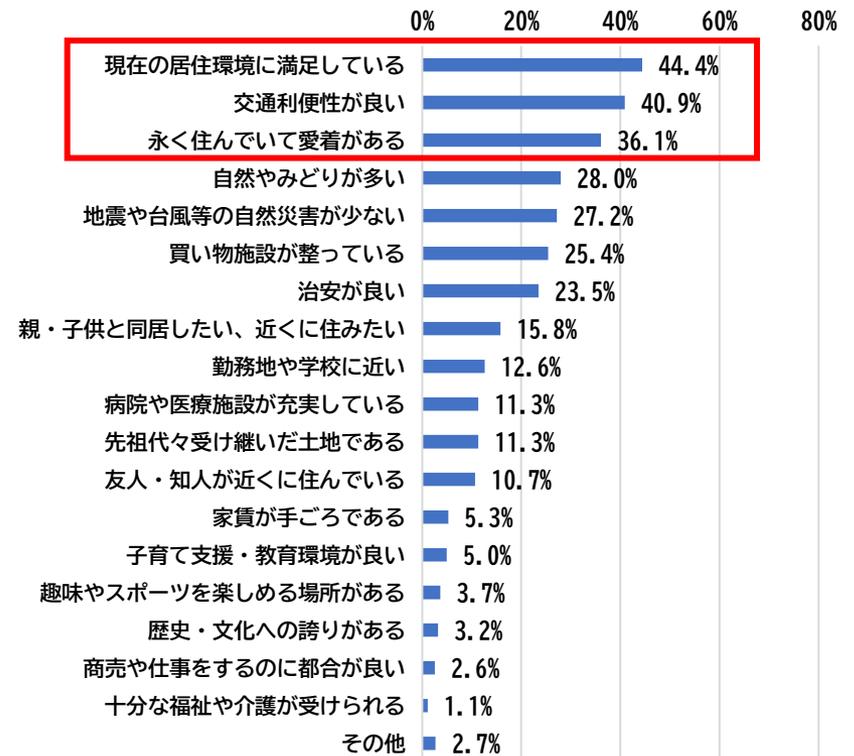
今後の居住意向

n=875



住み続けたい理由 (複数回答可)

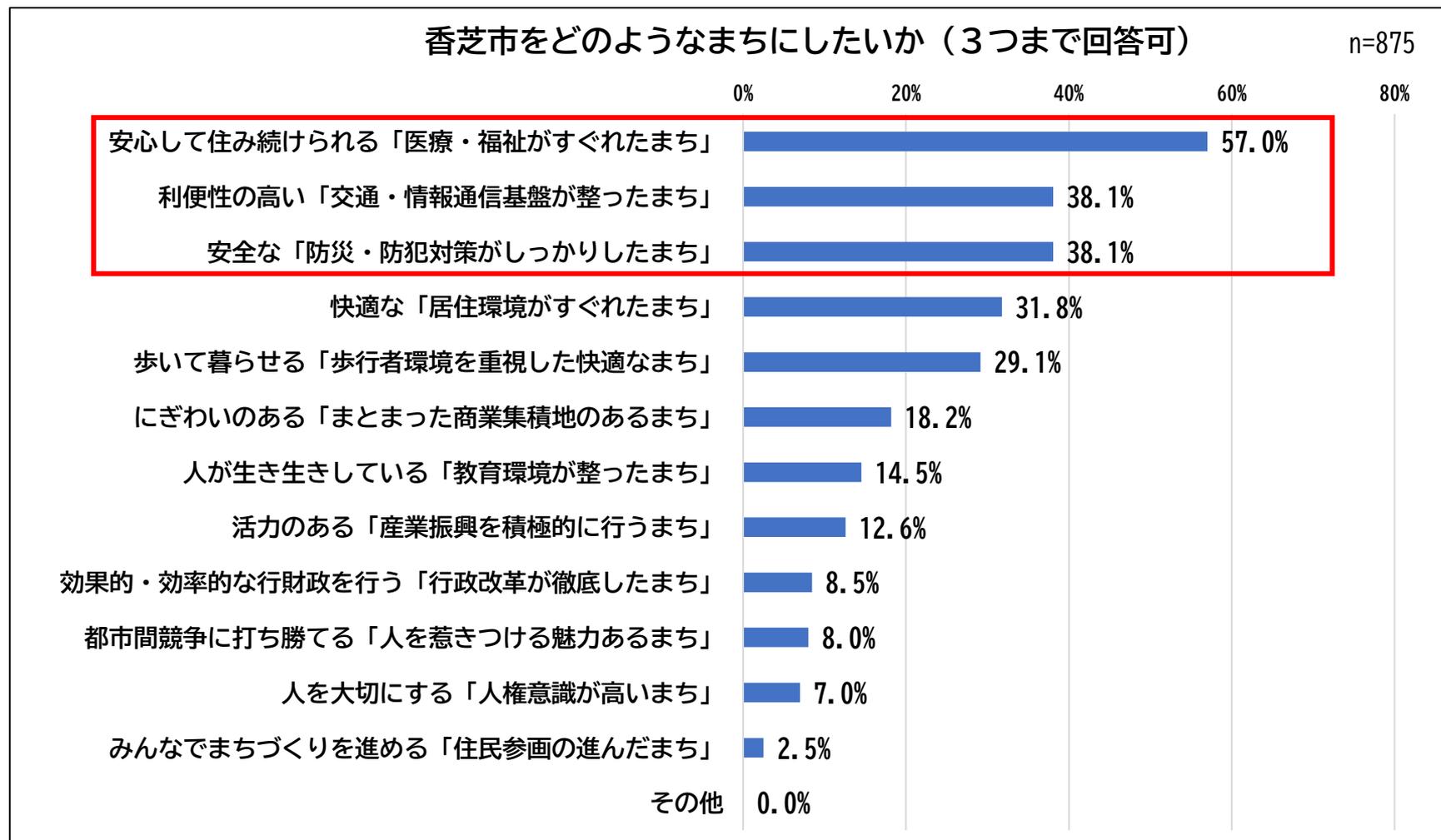
n=875



2. アンケート結果（②まちの将来像）

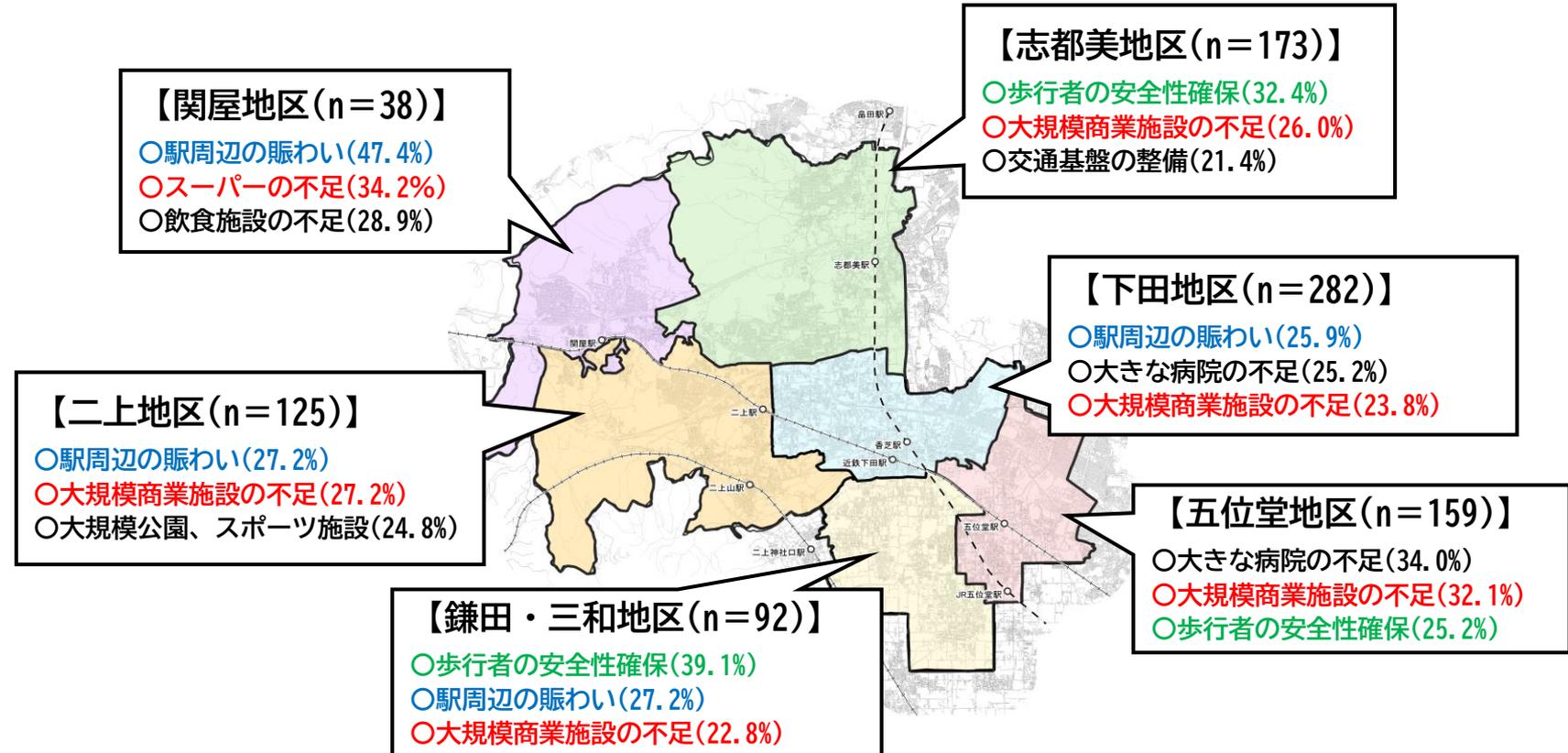


○医療・福祉、交通・情報基盤、防災・防犯等の整備を回答した割合が高い。



- 大規模商業施設やスーパーの不足は全地区で回答割合が高い。
 - 駅周辺の賑わいは、関屋地区、二上地区、下田地区、鎌田・三和地区で回答割合が高い。
 - 歩行者の安全性確保は、志都美地区、鎌田・三和地区、五位堂地区で回答割合が高い。
- 市全体では、商業機能の不足がまちの課題である。

住んでいる地域の課題 (複数回答可)

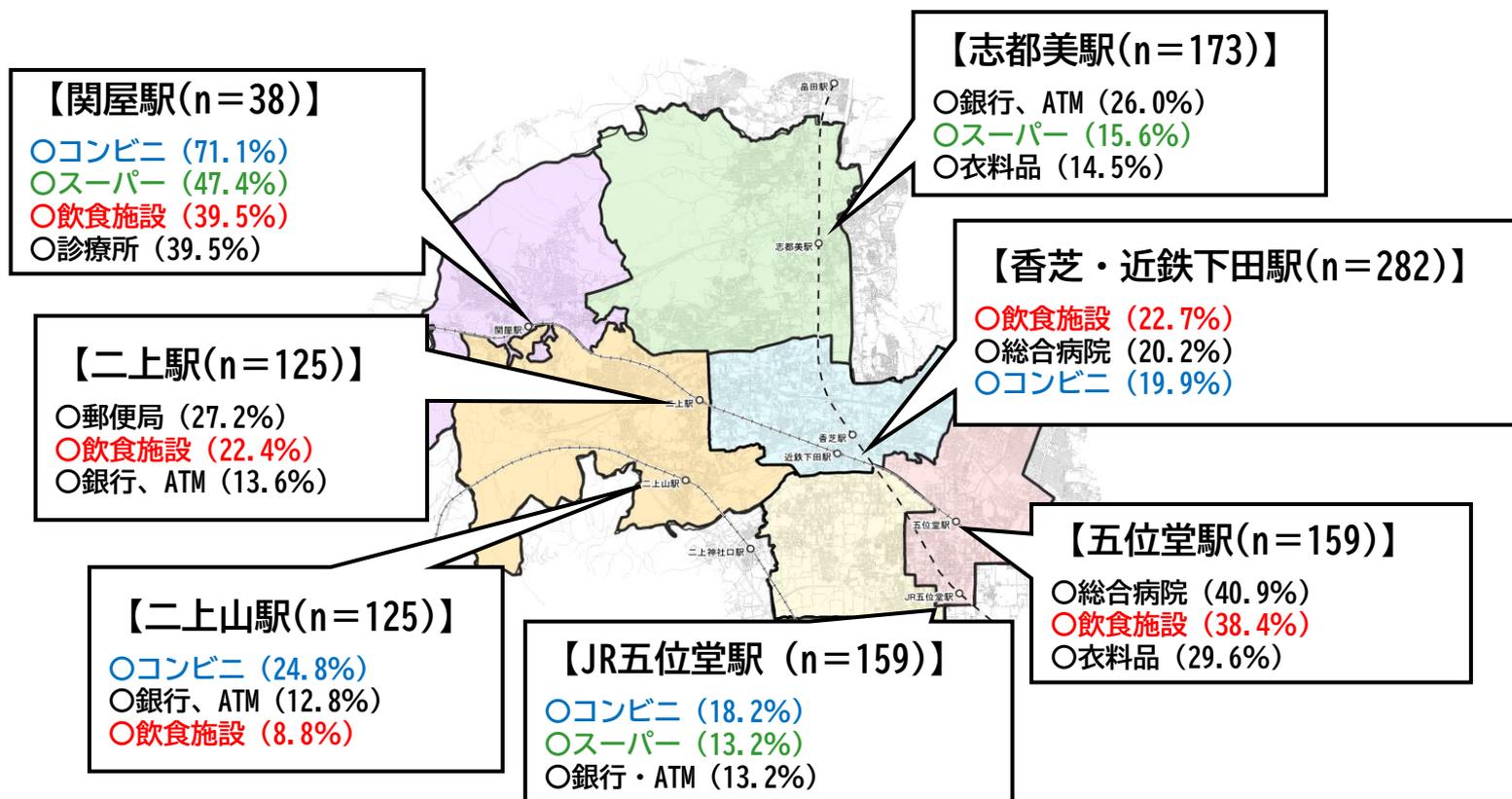


2. アンケート結果 (④駅周辺に必要な施設)



- 飲食施設は関屋駅、二上駅、二上山駅、五位堂駅、香芝・近鉄下田駅で回答割合が高い。
 - コンビニは関屋駅、二上山駅、香芝・近鉄下田駅、JR五位堂駅で回答割合が高い。
 - スーパーは関屋駅、JR五位堂駅、下田地区で回答割合が高い。
- 市全体では、飲食施設、商業施設が駅周辺に必要な施設である。

駅周辺に必要な施設 (複数回答可)



3. 関係各課へのヒアリング



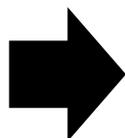
【関係各課施策について】

関係各課の皆様方には、**各計画に基づき、まちの課題や施策・事業の進捗状況についてお尋ねする予定**です。

ご返答いただいた結果に基づき、**立地適正化計画の誘導施策に反映**させていただきます。

(設問例)

計画名	内容	設問	担当課
都市計画マスタープラン (P82)	駅周辺における都市基盤施設の整備や大阪樟蔭女子大学関屋キャンパス跡地へ地域の活性化につながる施設の立地誘導が求められています。	大阪樟蔭女子大学跡地の利活用方針や計画について現在の状況について教えてください。	〇〇課

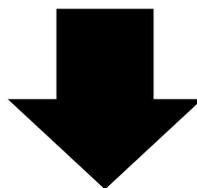


事業名、実施場所、実施時期、実施主体、事業内容、進捗状況等について答えられる範囲で回答させていただきます。

【回答例】

事業名	実施場所	実施時期	実施主体	事業内容	進捗状況
A事業	大阪樟蔭女子大学跡地	R6～R10 (予定)	A社 (民間事業者)	国の補助金を活用して高齢者福祉施設を整備して、地域に開かれた施設としての活用を図る	民間事業者と整備時期について協議中

※検討中の内容や方向性について書ける範囲での記載でも大丈夫です！



【立地適正化計画での反映例】

誘導施策

地域と連携した高齢者福祉施設の整備を行い、地域のにぎわい創出を図る。

誘導施策を具体的にどのように計画に反映するかについては、来年度以降の検討部会や策定委員会で改めて協議する機会を設けさせていただく予定です。

また、ご担当者様だけでなく、各課で共有していただき、ご回答ください。
内容によっては、個別にヒアリングする機会を設けさせていただきます。

【回答方法】

都市計画課より、近日中にメールにて設問及び回答シートを送りますので、ご回答いただき、メールにて提出をお願いします。

◆質問がある場合は以下にご連絡ください。

都市計画課：吉田

内線番号：203





ご清聴ありがとうございました。

